

# 岐阜県代協ニユ

平成24年1月

vol.202



一般社団法人岐阜県損害保険代理業協会

## 28名の新たな日本代協認定保険代理士誕生

一般社団法人岐阜県損害保険代理業協会 会長 おおえ かねお 大江 金男

1月12日グランヴェール岐山において、日本代協認定保険代理士第12期認定証授与式が開催され、新たに28名の認定保険代理士が誕生いたしました。

2年間にわたる日本代協保険大学校を終了し、認定試験に合格された皆さんに心からお祝い申し上げます。全国では856名の方が認定されました。

損害保険業界は高いレベルでの消費者対応能力が求められており、募集人の資質向上を図ることは大変重要です。そうした意味でも、岐阜県代協として今後も引き続き認定保険代理士（トータルプランナー）の輩出に力を注いでまいります。



先日東京海上日動社の代理店会で、宮城県気仙沼で自宅も事務所も被災しながら450件に及ぶ地震保険の支払いに奔走された(有)モリ保険事務所の森雅志社長のお話を伺う機会にお招きいただきました。

森氏は避難民となっても避難所のリーダーを買って出たり、避難所を出てからは保険会社と一体となり、地震保険付帯契約のリストと事故報告、お客様との連絡方法に試行錯誤されながら「太い糸を細い針に通す作業」に終始し、保険金支払いの伝達においても周囲に対する気遣いをしながらの活動を、時に涙ぐみながら話されました。

また、震災を通しての教訓として森氏は「保険をお客様にご提案できるのは私たち『保険代理店』だけ！」と強調され、「何よりも地域社会の復旧・復興が最優先課題」と述べられました。

短い文章の中では書き尽くすことはできませんが、なるほど今回の震災・津波被害の中で、保険金支払いがお客様の生きる意欲を湧き立たせると同時に、被災地域全体の復旧・復興の手助けにもつながるということを感じることができました。

お招きいただきました支店長、西沢代理店会長に紙面で恐縮ですが深く感謝申し上げます。

2月10日(金)に長良川スポーツプラザで「新入会員オリエンテーション」を開催します。

これは新たに入会された会員だけでなく、代協活動にご理解いただく機会として正会員だけでなく一般会員の方にも、支部長推薦でご参加いただけます。

「代協活動の現状と課題」23年度版(日本代協発行)を中心に、岐阜県代協の支部活動や各委員会活動、国民年金基金、政治連盟についても代協活動の全般を幅広く知っていただくオリエンテーションです。終了後には懇親会も予定していますので、対象の方は是非ご参加いただきますようお願いいたします。

### 目次

1 p	・ 会長挨拶／目次	9 p	・ 中さんの保険諸国漫遊記 (69)	①
2 p	・ スケジュール／事務局より	10 p	・ ～保険ジャーナリスト 中崎章夫 ～	②
3 p	・ 支部活動報告	11 p	・ なるほど『ぎふ雑学』(34) ～松尾 一～	
4 p	・ 委員会報告	12 p	・ SHINWA グループ	
5 p	・ 第11期認定保険代理士名簿①	13 p	・ 損害事故復旧サービス～ホームステップ(株)イダ～	
6 p	・ 第11期認定保険代理士名簿②	14 p	・ 交通事故による損害復旧工事～(有)岐垣創建～	
7 p	・ 第11期認定保険代理士名簿③	15 p	・ 平成24年度役員改選立候補届出について	
8 p	・ 会員投稿記事		／ 編集後記	

# スケジュール/事務局より

## ～ スケジュール ～

日付			主催	行事・議題・内容など	開催場所
12	14	水	中濃支部	例会(10:30～)	太田宿
	20	火	飛騨支部	役員会	備長吉兆や
1	6	金	中濃支部	新年懇親会(11:00～)	昇月
	12	木	県代協	認定証授与式&賀詞交歓会	グランヴェール岐山
	13	金	日本代協	保険大学校第14期第2回セミナー(13:00～)	ウインク愛知
	13	金	西濃支部	新年懇親会(18:00～)	一天張
	19	木	東濃支部	例会(11:30～)	みわ屋
	24	火	東海ブロック	東海ブロック協議会(14:00～)	愛知県代協事務局
	27	金	飛騨支部	新年懇親会(18:30～)	本陣 平野屋
2	1	水	西濃支部	例会(12:00～)	鶴見天近
	2	木	県代協	三役会(11:00～)	岐阜県代協事務局
	3	金	岐阜支部	新春セミナー(15:00～)	十八楼
	8	水	中濃支部	例会(10:30～)	太田宿
	9	木	東濃支部	幹事会(11:00～)	みわ屋
	9	木	東濃支部	例会(11:30～)	みわ屋
	10	金	県代協	新入会員オリエンテーション	長良川スポーツプラザ
	25	土	県代協	認定保険代理士広告 新聞掲載(予定)	中日新聞
3	7	水	県代協	理事会(13:30～)	瑞穂市総合センター(予定)

## ～ 組織委員会より ～

全国一斉「国民年金基金加入推進キャンペーン」が終了し、岐阜県代協は皆様のご協力をいただき、目標を達成することができました。

3月9日に開催されます全国会長会議席上にて表彰いただける予定です。

お取り組みいただきました皆様方に心より厚く御礼を申し上げます

### 全国一斉「代協正会員2月入会キャンペーン」のご案内

平成23年度都道府県代協正会員増強運動において、4月～11月末日現在の代協正会員数は平成23年3月末比較▲139店の11,346店、目標の12,000店に対し▲654店という現状です。

本年度こそ目標の12,000店を必ず達成すべく、キャンペーンが実施されます。

開催時期は、平成24年 2月 1日(水)から 2月29日(水)の1か月間です。

岐阜県代協の期間中必達目標は 3店 !

皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

岐阜県代協教育委員会/事務局 TEL : 058-294-1221 FAX : 058-294-8051

Eメールアドレス : [gfdaiyo@opal.ocn.ne.jp](mailto:gfdaiyo@opal.ocn.ne.jp)

# 支部活動報告

## 【岐阜支部役員会報告】

開催日時 : 平成24年 1月12日(木) 開催場所 : グランヴェール岐山  
参加者数 : 11名 報告者 : 岩田 篤宗

《内容》

- ・2/3~4 岐阜支部新春研修会、懇話会(講師および講演テーマ)について
- ・会員増強
- ・その他情報交換

※次回役員会は 2月 3日(金) 14:00~ 場所 十八楼にて

## 【西濃支部1月活動報告】

開催日時 : 平成24年 1月13日(金) 18:00~ 開催場所 : 一天張  
参加者数 : 27名 会員 22名、保険会社 2社3名、賛助会員 2社2名  
報告者名 : 畦地 正治

《内容》

東京海上日動大垣支社長様ならびに社員様、三井住友海上大垣支社長様、賛助会員の(有)岐垣創建様、オートボデーショップ篠田様のご参加いただき、新旧会員と共に親睦を深めることができました。

平成24年度定時会員総会や平成24年度支部役員の改選をふまえ、さらなる西濃支部の発展と飛躍を誓い、より一層新たな気持ちの情報交換となりました。

※次回例会は 2月 1日(水) 12:00~ 場所 鶴見天近にて

## 【中濃支部活動報告】

日時 : 平成24年 1月 6日(金) 11:00~ 場所 : 料亭「昇月」  
参加者数 : 27名 報告者 : 吉田 春次

《内容》

中濃支部新年会を開催しました。

27名の参加者と多数参加があり、厳しい状況の中、新しい年に向け、皆さんに抱負を言っていました。

会食の中、新会員増に向け話があり、明るい未来を感じました。

※2月例会は、2月8日(水) 10:30~ 場所 美濃加茂市美濃太田宿にて

## 【東濃支部例会】

開催日時 : 平成24年 1月19日(木) 開催場所 : 釜戸 みわ屋  
参加者数 : 12名 報告者 : 伊藤 智之

《内容》

- ①認定証授与式・賀詞交歓会報告
- ②オリエンテーションについて
- ③火災保険、地震保険情報交換
- ④提携業者について

※次回案内 2月 9日(木) 11:00~ 幹事会  
11:30~ 例会

場所:釜戸 みわ屋にて

# 委員会報告

## 【教育委員会】

第12期認定保険代理士認定証授与式を下記のとおり滞りなく終えました事をご報告し、多数の皆様にご出席、ご協力いただきましたこと厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。

開催日時 : 平成24年 1月12日 (木) 11:00～  
開催場所 : ホテルグランヴェール岐山 鳳凰  
認定証授与者 : 24名 (次ページ掲載)  
ご来賓 :

社団法人 日本損害保険協会 名古屋支部岐阜損保協会  
会長 財部 剛 様

(東京海上日動火災保険 (株) 岐阜支店長)

社団法人 日本損害保険協会 名古屋支部岐阜損保協会  
副会長 大野 修一 様 (衛藤次長様 代理出席)

(三井住友海上火災保険 (株) 岐阜支店長)

社団法人 日本損害保険協会 名古屋支部

事務局長 鐘ヶ江 修 様

社団法人 日本損害保険代理業協会東海ブロック協議会  
会長 高木 勝 様



また、第12期認定保険代理士認定証授与式終了後、同会場にて賀詞交歓会が開催されました。ご来賓の皆様、各保険会社様、賛助会員様より多数のご参加をいただき、総勢132名の盛大な会が催されました。そして、岐阜県代協会員でもあり、日本代協会長の岡部 繁樹氏より美濃国出身の儒教学者佐藤一斉の「春風接人 秋霜自肅」という言葉をかり、謙虚にわが身を振り返り、努力を怠らない人は、自ずと人を包み込む力が生まれ、周囲から頼りにされる。こうした資質を持った代理店こそが、日々の仕事を通して「地域の絆」をつなぎ、「人と人が支え合う国家・社会」作りに貢献できると御挨拶をいただき、今年誕生した28名の認定保険代理士の皆さまは、決意も新たに益々精進される誓いをたてられました。代理店においては厳しい募集環境が今年も予想されますが、代協活動を通じて会員それぞれが切磋琢磨し、協力していくことが大切だと思います。

(報告者 委員長 宇野 仁基)

## 【広報委員会】

『日本代協認定保険代理士新聞広告』

本年度も恒例となりました日本代協認定保険代理士PRのための広告を、中日新聞岐阜県全域版に平成24年2月25日(土)に掲載(予定)を企画いたしました。

今年度も、岐阜県損害保険代理業協会だけの企画となり、認定保険代理士広告として全面広告を掲載の予定です。平成24年1月1日付けで第12期認定保険代理士に認定されました28名を加え、岐阜県代協も総勢208名の認定保険代理士が誕生したことになります。

1月19日頃に広告申込のご案内を郵送で申し上げましたが、詳細はホームページ、岐阜県代協お知らせメール等でもお知らせいたしておりますので、多くの認定保険代理士の方々の申し込みをお待ちしております。

(報告者 委員長 川島 邦夫)

## 認定保険代理士 第12期 祝認定!!

日本代協認定保険代理士 第12期に28名の皆様が認定されました。

おめでとうございます。

氏名 野村 智子

代理店名 (有)アスミオ 従業員

住 所 可児市今渡 312-4

代申会社 東京海上日動火災保険 (株)

氏名 高岡 康雄

代理店名 (株)保険グロウ 従業員

住 所 中津川市落合 405-1

代申会社 三井住友海上火災 (株)

氏名 安藤 公一

代理店名 クリエ (株) 店主

住 所 岐阜市北一色 3-5-9

代申会社 東京海上日動火災保険 (株)

氏名 三浦 正人 (非会員)

代理店名 ベストパートナー 店主

住 所 岐阜市山吹町 2-7 船坂ビル 2F

代申会社 三井住友海上火災 (株)

氏名 細江 勉

代理店名 クリエ (株) 役員

住 所 岐阜市北一色 3-5-9

代申会社 東京海上日動火災保険 (株)

氏名 井戸 俊廣

代理店名 (有)トップスアイ 店主

住 所 羽島市竹鼻町蜂尻 412-2

代申会社 東京海上日動火災保険 (株)

氏名 川瀬 方彦

代理店名 保険屋・com 店主

住 所 大垣市本今 5-39-1

代申会社 東京海上日動火災保険 (株)

氏名 清水 博子

代理店名 (株)TSホケンワークス 従業員

住 所 多治見市滝呂町 11-111

代申会社 三井住友海上火災 (株)



氏 名 丸野 博文  
代理店名 (資) BRAINS 役員  
住 所 関市桜本町 2-18-4  
代申会社 日新火災海上保険 (株)

氏 名 住谷 和仁  
代理店名 (株) サンクス保険サービス 従業員  
住 所 各務原市鵜沼大伊木町 2-67-1  
代申会社 東京海上日動火災保険 (株)

氏 名 大脇 久  
代理店名 (有) キープオン 店主  
住 所 可児市広見 1974-1 服商ビル 2F-1  
代申会社 日本興亜損害保険 (株)

氏 名 道山 和生  
代理店名 (有) 岐阜保険事務所 従業員  
住 所 岐阜市則武中 1-25-3  
代申会社 東京海上日動火災保険 (株)

氏 名 遠藤 祐之  
代理店名 (有) キープオン 役員  
住 所 可児市広見 1974-1 服商ビル 2F-1  
代申会社 日本興亜損害保険 (株)

氏 名 篠田 佳之  
代理店名 (株) ACT 役員  
住 所 羽島郡岐南町下印食 5-72  
代申会社 シェラトン赤塚 2-1A  
東京海上日動火災保険 (株)

氏 名 梶川 恵子  
代理店名 (有) 中部保険事務所 従業員  
住 所 可児市長坂 2-107-1  
代申会社 三井住友海上火災 (株)

氏 名 白石 正行  
代理店名 (株) 東日コンサル 従業員  
住 所 岐阜市西中島 5-3-10  
代申会社 東京海上日動火災保険 (株)

氏 名 中井 雅美  
代理店名 (有) 中部保険事務所 従業員  
住 所 可児市長坂 2-107-1  
代申会社 三井住友海上火災 (株)

氏 名 藤井 和代  
代理店名 (株) 藤吉保険事務所 従業員  
住 所 関市下有知 397-2  
代申会社 東京海上日動火災保険 (株)

氏 名 佐藤 元則  
代理店名 (株) A C T 従業員  
住 所 羽島郡岐南町下印食 5-72  
シェラトン赤塚 2-1A  
代申会社 東京海上日動火災保険 (株)

氏 名 廣田 雄大  
代理店名 エムズ保険 (株) 従業員  
住 所 中津川市えびす町 1-23  
代申会社 東京海上日動火災保険 (株)

氏 名 鈴木 豊人  
代理店名 (有) ユウ保険事務所 従業員  
住 所 大垣市西之川町 1-295-3  
代申会社 東京海上日動火災保険 (株)

氏 名 平林 和巳  
代理店名 (資) B R A I N S 店主  
住 所 関市桜本町 2-18-4  
代申会社 日新火災海上保険 (株)

氏 名 山口 紘史  
代理店名 (有) ヤマグチ保険 従業員  
住 所 下呂市金山町金山 2057  
代申会社 東京海上日動火災保険 (株)

氏 名 額瀨 正博  
代理店名 みらい保険事務所 店主  
住 所 多治見市音羽町 4-24-1 日栄ビル 3F  
代申会社 三井住友海上火災 (株)

氏 名 松野 俊幸  
代理店名 (株) 東海日動パートナーズ岐阜 従業員  
住 所 岐阜市金町 6-4 岐阜東京海上日動ビル 1F  
代申会社 東京海上日動火災保険 (株)

氏 名 寺田 茂  
代理店名 (有) みずほ保険 店主  
住 所 本巣郡北方町高屋伊勢田 1-50-5 2F  
代申会社 損害保険ジャパン (株)

氏 名 小椋 武志  
代理店名 (有) 恵北損保 従業員  
住 所 中津川市苗木 1782-3  
代申会社 あいおいニッセイ同和損害保険 (株)

氏 名 中村 繁博  
代理店名 (株) アールコンサルティング 店主  
住 所 羽島市正木町須賀池端 68-1  
代申会社 三井住友海上火災 (株)

We're the Professional.



プロだからこそ、できることがあります。

# 会員投稿記事

## 「保険代理店として生きる！」

1月12日に行われた東京海上日動岐阜支店の賀詞交歓会で、宮城県気仙沼市の有限会社モリ保険事務所代表取締役 森雅志さんの講演を聴かせていただいた。

テーマは大きく分けて2点。「震災当時の様子とその後の対応」、そして「代理店のリスク管理」。  
身震いした。臨場感のある話し方から伝わる自然の力の恐ろしさに、  
というよりは森さんの使命感にだ。



自宅と事務所を津波に流されていながらも、3/16には避難所を出て、4日後の3/20には仮事務所を開設したという。通信手段の無い中を、瓦礫とヘドロをかき分け避難所を回ってご契約者を探し歩き、地震保険の支払査定に一軒一軒見て回る。震災後、初めて風呂に入ったのはなんと6月だ。

「もし自分が森さんの立場だったら・・・」お話を聴きながらそんな事を考えていた。失った物を嘆いて避難所でいつまでも毛布にくるまっているだろう。家族の無事を祈るのがせいぜいだ。もちろんご契約者や仕事どころではない。生気を失い、ただただ茫然としている自分の姿がありありと目に浮かぶ。



講演後、森さんとお話をさせていただくことができ、自分の正直な気持ちを打ち明けた。そして「どうしてそんな事ができたのか」と尋ねた。「血です」と返ってきた。三代目である森さんのお父さん、おじいさん、代理店仲間、保険会社社員から受け継いだ血によって「被災者から復興者に！」「這いつくばってでも保険代理店として生きる！」という想いが湧いてきた、と。

最後に、「復興支援にはどんな事が喜ばれるか？」という問いに対して「保険を販売する事だ」とお答えになった。保険料収入が増えれば数字の上では保険料は安くなるはず。入りやすくなれば多くの人の力になれる。と。

自分はずっと「震災後、何かしなきゃとは思っただけ何かって何がいいんだろう？」とモヤモヤした気持ちを抱えていたが、何か吹っ切れたような気がする。

思えば今年の今頃は、スカスカおせちが世間を賑わせていた。2月には大学入試カンニング問題がまるで殺人事件のように連日あらゆる角度からその手法を検証していた。

もちろん例に挙げた2つの件を軽んじるつもりはないが、3月11日が「ああ、あったあった、そんな事」などと脳裏から消え行くことのないよう、ご契約者と向き合っていきたい。

(投稿者名：まだ一年も経っていないのに、地震保険を勧めた時の  
お客様の反応が薄くなったなど感じる一募集人)

### 2012年の保険代理店事業を巡る課題と展望 代理店のビジネススタンス問われる年に

#### ◇年初のダイエットチャレンジ

新年早々からダイエットを特集したテレビ番組がひっきりなしである。私を含めいかに体型を気にしている人が多いかという証左でもある。体重103キロにまで膨れ上がった身を何とか絞り込まないと、えらいことになることは自覚している。それではどんなダイエット法で臨むかの方法の選択が必要であった。テレビで取り上げられたダイエット法で特に目の引いたのが、1日5回に小分けて食事をとると、ダイエット効果がある、というもの。もう一つはバスタオルを2枚丸め紐で縛ったものを腰に当て5分仰向けで伸びの姿勢を取ると、骨盤が締まり、お腹周りが細くなるというもの、いずれも試してそれなりの効果があった。しかし極めつけは、筋トレと食事療法で3ヶ月チャレンジした人が肥満体からスリムな別人になるという、ボディデザイナーが指導する「吉川メソッド」というダイエット法だ。ハードな筋トレ1時間半を週2回、それとタンパクと脂質8対2の高タンパク食を基本とし、炭水化物、野菜や果物抜きの日1500キロカロリー未満の食事でのデザインががらりと変わり、腹も凹む、リバウンドの心配もない、という。

1月8日(日曜)からこの方式を試してみることにした。ただし朝食は今まで通り過去5年続けてきたニンジンリンゴジュース(これとて糖分の取り過ぎから本来はダメなのだが)とヨーグルト摂取は変えない。昼と夜は、できるだけメソッドに忠実に、大好きなごはん、麺類、パンなどを原則取らない。ただし仕事での会食もありそうもいかないが、少なくとも1ヶ月は継続し、主食は脂肪分少なめの肉類や大豆食品など高タンパク食に切り替えてみることにした。筋トレは、週3回現在スイミングクラブに通ってマシン筋トレを水泳とともにしているので、この筋トレの負荷をかけ試みることにした。当面3月いっぱい、どのような成果が出るか、試すことにした。この方式ではウイスキーなどの蒸留酒の規制はないのでホッとしている。始めて2週間、体重は99キロまで下がってきたが、果たしてこのままのペースで体重は落ちてくれるのだろうか。3月末までには90キロを切りたいと思っているが、ダイエットは自分の身をもって結果が数値的にズバリわかるので、取り組みやすいし、また食欲という克服し難い欲求との戦いという点で多くの人の関心の的になっているのかもしれない。そういえば私もこれまで毎年のようにダイエットに取り組み挫折の連続で、そしてまた性懲りもなく、新たなチャレンジをしているのである。しかも挫折の旅に体重は積み重なってきており、リバウンドは間違いなく、食欲のコントロール機能を壊してきたようだ。

#### ◇スマート社会への変化

2012年はどのようなことが話題になるか。社会システムのありかたに目を向けると、大震災や原発問題を契機に大災害に耐え得る、環境に優しい社会システムの構築が求められている。化石燃料や原子力依存から、新たな活路として太陽光、風力など再生可能エネルギーなど多様なエネルギーを活用した社会デザインが求められる中で、情報通信技術(ICT)を活用したスマート社会の実現が官民挙げて模索されている。

なかでもスマートグリッドが注目されている。従来の電力会社からの一方通行の送電のみならず、各家庭に普及しつつあるソーラーパネルなどによる太陽光発電などの自家発電を双方向で組み合わせ、太陽光などの再生可能エネルギーの天候次第の不安定さを補い、また蓄電池などを活用し、効率的かつ安定的な電力の需給バランスを実現しようという次世代電力ネットワークである。

#### ◇スマートメーターの普及

ここに来て、使用電力をリアルタイムで把握する次世代電力計(スマートメーター)の設置も浮上してきた。国は今後、全国的に5カ年で8割の家庭へのスマートメーターの普及を図る目標を掲げている。また東京電力でも2018年度までに1700万世帯に設置する計画があり、国際入札でコスト抑制を図る旨、22日付日経が報じている。

#### ◇自動車、住宅産業も変化

このようなスマートグリッドが推進され、社会インフラの整備が進むと、たんにエネルギー・環境産業分野にとどまらず、住宅や自動車などの社会生活関連の基幹分野にも大きな影響がもたらされることは間違いない。ソーラーハウス、スマートハウスの普及とともに、バッテリーを搭載し、蓄電機能を有する電気自動車や家庭用の蓄電装置を開発・活用し、家電製品などの電力需要をコントロールする可能性も検討されている。

#### ◇生活支援業としての代理店

電力の効果的利用のみならず、それと関連したあらゆる生活シーンについても消費者・生活者はITを活用し、存在価値の総点検をしてゆく時代に入るものと思われる。こうしたなかで生活支援業としての保険代理店の事業モデルはどのような姿になってゆくのか、想像力が鋭く問われるところとなっている。

#### ◇問題山積みの保険業界

2012年は、損保業界にとり厳しい材料が出そろった観がある。構造的な国内マーケットの不振に加え、自動車保険の高損害率による収益悪化、大震災や原発問題、台風損害など相次ぐ大災害、そして、超円高と欧州債務危機など資産運用面の難局

面は、間違いなく保険業界の在り方の抜本改革を求めている。T P P(環太平洋経済連携協定) 交渉への参加如何において、とりわけ米国側が、簡保や共済問題のみならず異なる民間保険分野でどのような要求をしてくるのか、それがどのような影響を及ぼすかも予断を許さない。

### ◇自動車保険収支改善への取り組み

内需不振を背景とした収入保険料低迷の中で、損保の収益を悪化させているのが自動車の高損害率である。主力の自動車保険の損害率悪化は構造的な問題だけに深刻で、その改善をどのように図るかは各損保経営が等しく直面する喫緊の問題である。地域により窃盗団の暗躍などで損害率が高騰しているケースもあるだけに、自助努力のみでは解決困難な要因も働いていよう。確かな分析に基づく迅速な対応が必要だろう。とりわけ、主要因の一つ、高齢者のロス悪化に対応し、損保各社では実施時期はばらついているが、昨年4月から10歳刻みの年齢別料率導入により高齢者層の保険料を引き上げたところや10月から30歳以上、35歳以上の年齢層の割引の見直しなどを図るなどの施策を打ち出した。本年1月に引き上げたところもあるが各社ほぼこれを出そろった観がある。本年秋には無事故割引等級制度を見直し、事故を起こした場合は等級ランクは3ランク下げと変わらないものの、割引率を圧縮し、3年固定するなどペナルティの要素も合わせ導入が予定されている。

### ◇進むローコストオペレーション

損保会社の収益改善には、事業費の低下が一層必要になる。国内市場縮小化に合わせ店舗の統廃合も一段と進んできている。ローコストオペレーションを旗印に、組織を簡素化、効率化し「後退戦」を戦い抜くかである。生損保とも営業第一線、すなわち顧客接点で保険手続き業務や入金処理等を完結する方向を模索する一方で、人事施策の面でも新機軸を打ち出し大きな事業転換を印象づけた恰好である。保険会社の再編統合、モデルチェンジ、組織改革に合わせ、保険流通チャネルの変革も強く出てくる。

### ◇変わる営業スタイル

本年注目されるのが、現場へのタブレット端末導入による顧客接点での業務完結態勢への転換だ。主力の自動車保険や火災保険などから順次移行させ、保険手続き、保険料支払いの電子化、電子パンフ化などが本格化する年になりそうだ。顧客接点での代理店業務完結化が図れば、保険会社の業務の在り方も抜本的に様変わり、大幅な合理化・効率化が図れ、事業や組織の在り方が改まりそうである。代理店にとってもタブレット型端末画面上の電子パンフレットを活用したり、動画やアプリを活用し顧客とのコミュニケーションやプレゼンテーションの在り方を工夫する事が可能になるなど、提案スタイルが様変わりしそうだ。

### ◇簡素化する保険商品

自動車保険のコモディティ(日用品)化が一段と進む。自動車通販市場はすでに2000億を超え、定着を見ているのに加え、いつでもどこでも1日から個人向けのレジャー・スポーツ、旅行、自転車などのシンプル損保商品をモバイル顧客層向けに通販で販売する方式も相次ぎ導入されている。本年は、1日自動車保険のモバイル通販が全チャネルで本格化する方向を打ち出す会社もあるだけにその成り行きに関心が集まる。

### ◇代理店手数料への損害率反映

代理店手数料施策にも変化が顕著になる。規模、成長率、品質などに加え、損害率要因を収益改善寄与度という観点からより厳格に評価する姿勢だ。規模の有無にかかわらず自動車保険等での高損害率代理店にはペナルティの要素を加味し、手数料削減に向かう。収益構造を大胆に変えるために保険会社の取りうる施策は限られてきているだけに、自動車保険の料率改定に方向性が出て、契約者に応分の負担を求めた以上、痛みを分かち合うという観点から、手数料面への損害率を反映させるという方向性や手数料の切り下げは本年以降一段と鮮明になるよう。

### ◇代理店に課す保険会社施策に注目

昨年の大震災を契機に、今一度原点に立ち戻り、社会的な存在意義は何か、が問い直され、地域の代理店のきめ細かなサービス提供力が顧客から再評価されてきている。代理店は、人で成り立つ商売、人のネットワーク産業として、真に持ち味を生かしきった事業展開になっているかどうか、事業全体の総点検が求められているのではないかと。こうした代理店特性を踏まえ、その基盤を支援強化するために保険会社はどのような新機軸を打ち出せるのだろうか。

### ◇代理店の原点回帰

代理店も原点回帰が必要になってくる。従来の売り上げ拡大、新規顧客獲得中心の量的拡大の攻撃的戦略以上に、顧客との良好な関係を築くことで、顧客の支持を取り付け、長期間に渡って取引を継続しようという防衛的戦略が一段と重要になっている。既存顧客の移動・流出を防ぐために何が必要か。個人顧客においては、世帯単位にどれだけ保険を任せてもらえるか、すなわちクロスセルの割合がどれだけ進んでいるかがポイントになっている。企業法人分野では、保険の手当て以上にリスクマネジメント提案力やアドバイス力が問われるところとなるよう。

### ◇代理店として独自のブランド構築を

代理店の経営の在り方も、改めて問い直されてきている。先にみたようにきわめて厳しい収益環境に保険会社が直面していることを直視し、代理店として保険会社との適切な距離感に基づく新たな協力関係の構築も必要な時代になっている。

その際に、顧客が求めるものは何か、自ら顧客のためにどのような付加価値戦略で臨むのか。他との違いをどのように出していくのか。まさに代理店としての独自ブランド作りが求められる。

(保険ジャーナリスト、inswatch 編集人)

## なるほど『ぎふ雑学』（34）

松尾 一

### 雪深い峠を越えた“天狗党”

江戸時代末期、幕府に代わって天皇をいただいた政治の確立と外国を武力で追い出す「尊王攘夷」という思想が生まれ、この中心が水戸藩の「天狗党」でした。もっとも、水戸藩では幕府よりの「諸生党」もあり、水戸藩はこの二つの勢力があったということです。



1860年(万延元)、桜田門の変という井伊大老を襲撃したのも尊王攘夷派の水戸藩を脱藩した人たちでした。

1864年(元治元)、天狗党は筑波山で挙兵して、さらには当時、京都にいた一橋慶喜(のち15代将軍)を通じて、朝廷に尊王攘夷を訴えるために、武田耕雲斎を総大将にして、11月1日、中山道経由で京都を目指しました。総勢は1000名ほどで10門程度の大砲と多くの鉄砲を装備しており子どもや女性もいました。

下仁田(群馬県)では高崎藩と、和田峠(長野県)では諏訪藩・松本藩と戦いましたが、それも突破して、美濃に入ります。

実際は、経路となる藩は天狗党を遠巻きにしているだけで、そのまま見過ごしたり、金銭を渡して、速やかな通過を願った藩もあったといえます。

それはともかく、11月29日の夕方、水戸天狗党は鶴沼宿に到着しましたが、それ以前に鶴沼宿では子どもを親戚に預け、男たちは表戸を閉めて本陣に集まったといえます。

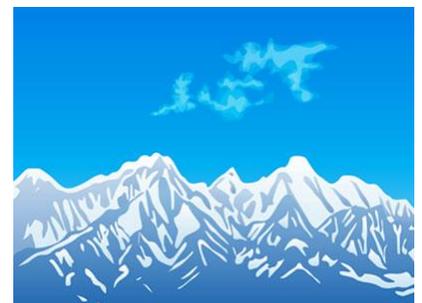
鶴沼にいた天狗党に対して、高須藩の軍勢は鶴沼の大安寺にたてこもり、尾張藩は小牧で、加納藩は加納城下で300名、幕府の笠松郡代は合渡川(長良川)で300名、大垣藩は美江寺宿で600人、彦根藩は関ヶ原宿でと、各藩等がおのおの布陣しました。

これを知った天狗党は、このままでは中山道を突破するのは無理だと考え、蘇原、芥見と北西に進路を取り、高富に泊まり、さらに大野を通って揖斐に泊まります。12月1日のことでした。

たまたま揖斐にいた旗本岡田氏の家臣で勤王志士と交流があった棚橋衡平が天狗党と交渉して各藩の動向を説明、さらには家臣や村人を説得して宿を斡旋、軍資金を渡したということです。こうして、揖斐は、戦火から逃れることができたようです。

一方、加納藩や大垣藩の軍勢が、まだ追撃をしてきました。そこで根尾谷から越前経由で京都を目指すことに変更しましたが、ここで子どもや女性は置いて行くことになりました。

12月4日、新暦では元旦、大河原から標高976メートルの縄帽子峠を越え越前に入ります。雪の中の峠越えでの道幅は巾一尺といい、この峠越えでは5人の犠牲者と馬1頭が谷底に落ちたといえます。



さて、そんな天狗党の行軍を囲むように油坂峠に郡上藩、縄帽子峠や温見峠には越前大野藩、冠峠には越前藩と軍勢が構えていたなかでの越前入りです。大野藩では、天狗党が通るであろうという集落を焼き払ったり、さらにはないないに領内を通行しないようにと天狗党に交渉をしたりしていました。

天狗党は今庄から木ノ芽峠を越え近江海津に着きましたが、たのみの一橋慶喜が天狗党追討軍の総大将となったことを聞いて、12月17日、ついに降伏したのです。それは明治維新の4年前のできごとでした。



(まつお・いち) ライフワークは地域史(近世交通史)  
著書は『東海北陸を裸にする!』『北陸街道紀行』等多数。

# SHINWAグループより新年のご挨拶

会長 伊藤 彰浩



岐阜県損害保険代理業協会の皆様、新年あけましておめでとうございます。

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

旧年中は岐阜県代協様ならびに岐阜県代協会員の皆様には、ひとかたならぬご理解とご協力を賜りまして、誠にありがとうございました。深く感謝申し上げますとともに、厚く御礼申し上げます。



さて、昨年は東北大震災の未曾有の被害に始まり、台風被害、そして洪水被害と自然の猛威にさらされ、人間の無力さを痛感させられた激動の一年でした。またこれらは保険業界、そして私どもの自動車業界にも大きな影響を与え、業界の改革をも必要に狭まれるほどの被害でした。この事態に、私ども SHINWA グループは、何ができるかとどのように対処して進むべきかを提議いたしました。被災地への支援もまだまだ始まったばかりです。わずかでも力になればと思ひ考え、支援金募金も始めました。そしてグループ各社も、保険修理の考え方の見直し等々、微力ながらご協力できることを常に考慮して前進して行こうとグループの合言葉にして取り組んで行く所存でおります。

また、従来のご協力に加えて賛助会員として個々に岐阜県代協様の一会員としての名前を登録させていただき事ができまして、また一層のご協力とサポート体制を充実させる事ができる事と考えております。おかげさまで15年目という長きに渡ってお取引をいただきますことも、これもひとえに岐阜県代協様の会員の皆様の暖かいご支援とご厚情の賜物とグループ一同大変感謝いたしております。

本年度も新たなサービスの展開とより一層のサービス充実を目標に掲げ、販売戦力のひとつに、私ども SHINWA グループがお役にたてればと考えております。どんなお力添えができるのか、グループ全員で知恵を出し合い話し合い、ご協力していくことが使命と考え、SHINWA グループは協力会社の(株) 鋳金オークションコムと共に、あらゆる角度よりあらゆる情報を収集して、より一層質の高いサービスを目指して参りますので今後も皆々様の益々のご支持をよろしくお願い申し上げます。

本年が岐阜県代協様並びに代協会員の皆様にとって更なる飛躍の一年と成ります事と、皆様のご健勝とご多幸を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

今年も SHINWA グループを  
よろしく  
お願い申し上げます。



# 損害事故復旧サービス

## < 今月の復旧事例 >

台風で倒れた塀と、雨モレのする屋根瓦の復旧です。

瓦が全体にずれてしまっているためにどこから漏れてるのか分からない為全体を修理いたしました。(瓦の下の土が重いので地震のことも考えて、土もなくし板金にて屋根全体を軽くしました。)

< 場所 > 岐阜市内

< 費用 > ￥1,080,000－(税込)+自己負担分あり

被害状況



復旧後



☆季節のリフォームカレンダーを掲載します。ご参考になれば幸いです。

## リフォーム・カレンダー

1月

2月

▼1日 <小寒> ▼15日 <大寒> ▼1日

【冬に向かったの準備】

寒さに備えて窓の結露、外壁のチェック / 水道管の凍結対策

【この時期に適したリフォーム】

屋根工事 / 床暖房 / ※給湯器の交換 ・壁の断熱工事

お気軽にご相談下さい。

岐阜県損害保険代理業協会 提携会社

一級建築士在籍の **ホームステップ (株)イネダ**

☎ 058-271-6788 (24時間即日対応)

# 交通事故による損害復旧工事

No.0102

京都市山科区地内

カーブミラー復旧工事

復旧工事費用

157,500円

作業前

作業完



- \* 住宅街に設置されたカーブミラーに接触し、ミラー1枚・支柱に損害を与えた。
- \* 住宅街であり交通誘導員を設置して作業となりました。
- \* 管理者の土木事務所より至急復旧の指示があり、現場確認翌日の施工となりました。

夜間の緊急作業にも、迅速対応いたします。

Speedy Network で 東海・関西・北陸をカバーする  
24時間・年中無休の安心対応

名古屋市一般・指名入札参加資格 法人コード708110

有限会社 岐垣創建 代表取締役 佐藤有巨

本社 TEL 0584-87-2633 FAX 0584-87-2635

金沢営業所 TEL 076-249-5128 FAX 076-249-5338

京都営業所 TEL 075-604-5888 FAX 075-604-5887

E-MAIL [giensouken@vega.ocn.ne.jp](mailto:giensouken@vega.ocn.ne.jp)

ホームページをご覧ください。 <http://www.giensouken.jp>

# 平成24年度 役員改選立候補届出公告について

平素は代協活動にご理解、ご協力をいただき誠にありがとうございます。

さて、一般社団法人岐阜県損害保険代理業協会は平成24年度理事役員改選時期にあたり、次期理事役員立候補者を正会員の中から募ることを12月号代協ニュースに同封し、公告いたしました。再度ご連絡申し上げます。

公告方法は一般社団法人岐阜県損害保険代理業協会ホームページ、代協ニュースおよびFAXにて行いますので立候補される方は専用届出用紙にて届出てください。

- 立候補届出期間 : 平成24年1月25日  
～平成24年1月31日午後4時必着
- 理事役員定員 : 28名  
監事役員定員 : 2名  
立候補資格 : 当該年度を含め、本会入会后2年以上  
届出事項 : 会員名、立候補者名、住所、電話番号、生年月日  
※立候補届出用紙は代協ニュース12月号に同封  
届出方法 : 岐阜県代協事務局までFAXかメールにて届出
- Mail gfdaijyo@opal.ocn.ne.jp  
FAX 058-294-8051

平成24年度役員改選選挙管理委員会  
委員長 川島 邦夫

## 編集後記

新年明けましておめでとうございます。

昨年は、東日本大震災での災害・死者まで出た台風・大洪水による被害等大変な一年でした。皆様におかれましても今年は、災害もなく平和な一年になることを祈っております。

(伊藤)

発行日／平成24年1月25日

責任者／大江 金男 発行／広報機関誌委員会

〒502-0912 岐阜市西島町8-10 Tel 058-294-1221 Fax 058-294-8051

E-mail : [gfdaijyo@opal.ocn.ne.jp](mailto:gfdaijyo@opal.ocn.ne.jp) <http://gifudaikyo.or.jp/>

【編集室メンバー】笠城 茂、川島邦夫、北村篤俊、大野 広、後藤益充、野村幸弘、伊藤智之、成原大介、大江金男、小西恭弘、森 信彦